

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ロンディーネの杜		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		~ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発 4/放デイ11	(回答者数) 児発 3/放デイ 7
○従業者評価実施期間	2025年 2月 7日		~ 2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面でのサポート体制の充実</li> <li>・子どもたちの日常に寄り添う支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師、看護職員による健康管理、医療的ケアの実施</li> <li>・入浴、送迎、食事、リハビリなどの支援内容の充実</li> <li>・多職種による専門的な支援の実施と人材確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の多様なニーズにきめ細やかに対応できる体制づくり</li> <li>子どもの状況だけでなく、家族の状況やニーズを丁寧に聞き取り、支援を検討します。地域の資源を活用し、多様な支援を提供できるよう努めます。</li> <li>・安心して相談しやすい環境づくり</li> <li>定期的な家族と面談を行い、困りごとや不安などを丁寧に聞き取ります。日々の様子や成長などを共有し、信頼関係を築きます。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な支援計画の作成と支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療、福祉、教育など、様々な分野からの情報収集</li> <li>・包括的なアセスメント</li> <li>・多職種による専門的な支援の実施と人材確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の充実</li> <li>多職種による専門的な意見を個別支援計画に反映します。定期的な見直しを行い、変化する状況に柔軟に対応します。</li> <li>・専門人材の育成</li> <li>研修会などを通じて専門的な人材の育成を図り、支援の質を高めます。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所、他の障害福祉サービス事業所、保育園・学校などの教育機関、医療機関(主治医や訪問看護師など)関係機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との相談しやすい関係づくり</li> <li>・子どもの日々の様子や変化などの情報共有</li> <li>・地域での包括的な支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互訪問や見学の実施</li> <li>それぞれの機関の役割や支援内容を理解し、連携を深めます。相互理解を深めることで、連携時のスムーズな情報伝達や協力体制の構築に繋がります。</li> <li>・合同イベントや交流会の開催</li> <li>関係機関の職員や利用者間の交流を促進します。交流を通じて、相互理解を深め、信頼関係を築きます。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動スペースの確保と使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容に応じたゾーニング</li> <li>集団活動や個別活動を行うスペースの確保</li> <li>・職員間での検討と情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容に応じたレイアウト</li> <li>それぞれの療育活動に適したスペースを明確に分け、子どもたちが活動しやすい環境を整えます。</li> <li>・職員の連携</li> <li>職員間で情報共有を行い、スペースの利用状況や改善点を把握します。定期的にミーティングを行い、スペースの有効活用について意見交換を行います。</li> <li>・定期的な見直し</li> <li>スペースの利用状況や子どもたちの反応を定期的に評価し、必要に応じて改善を行います。常に子どもたちにとって最適な環境を提供できるよう努めます。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムの固定化</li> <li>・活動プログラムの立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムの立案方法</li> <li>・職員間での検討と情報共有</li> <li>・活動内容の事前打ち合わせと振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームでのプログラム作成と見直し</li> <li>職員の様々な意見を取り入れ、より質の高いプログラムを作成します。定期的にミーティングを行い、情報共有や意見交換を行います。</li> <li>・記録の徹底</li> <li>活動の様子や子どもたちの反応などを記録し、評価や改善に役立てます。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の課題や改善点の共有</li> <li>・業務改善案の検討と実施</li> <li>・職員間での情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なミーティングの実施</li> <li>職員が日々の業務で感じている課題や改善点を共有する場を設ける。月に1回など、定期的に意見交換会を開催し、テーマを決めずに自由な意見交換を行う時間と、特定の課題について話し合う時間を設ける。改善後も定期的に効果測定を行い、必要に応じて見直しを行う。</li> </ul>